

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 ハグキッズ健康クラブ おおさかてんじん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1時間枠で区切り、指導室のスペースは確保されています。
	2	職員の配置数は適切である	○		マンツーマンでのレッスン対応としているので配置数は問題ありません。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		完全なバリアフリーではないので車椅子やベビーカー等をご利用の際はお手伝いさせていただいております。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		気付いた点についてはスタッフで意見を出し合って改善をはかっています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		いただいたご意見等を反映出来る様に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今後検討していきます。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修だけでなく、日々の利用者様の様子等をスタッフ間で議論し事業所全体で同じ方向を向いて支援が出来る様努めています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		常に保護者様から情報をいただき、随時課題を確認しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一されたアセスメントシートを使用して状況の把握をしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ間で意見を出し合って検討しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個々に合わせたプログラムを実施しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	短時間でのプログラムとなっているため平日・休日・長期休暇に応じた課題設定は出来ていません。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○	1:1でのレッスン対応となっていますが、状況に応じて活動内で集団活動を取り入れています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		課題や成長している点などについてスタッフ間で意見交換を行い、記録に残すことで共有しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		担当した指導員が必ず記録を取り、管理者が確認をしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		様々な角度から児童を見て、個々に合わせた支援を行っています。

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	児童のレッスン担当者や児発管が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	送迎はしていませんが行事予定等の確認を行うことでご利用日程のスケジュールリングをしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在まで医療的ケアが必要な児童の受け入れをしたことはありませんが、必要に応じて対応していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	情報共有が出来ていないので今後出来る様に検討していきたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	過去に放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行した児童はいらっしゃいません。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	現在は助言や研修は受けていないので検討していきたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	外部との交流は出来ていないので、検討していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	現在参加していないので検討していきたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	必ず保護者様に近況の確認を行うことで共通の理解を持てるよう努めています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	ご利用時に保護者様と話をすることでスタッフから情報の聞き取りや助言をするよう努めています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	ご契約時に必ず説明をするように努めています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	ご利用時に保護者様からの相談がある際はその場で返答をさせていただいています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	父母の会や保護者会等の活動はしていませんが、今後検討していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情やご意見については詳細を確認しスタッフ間で意見を出し合い、迅速に対応するよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	会報は発行しておらず都度利用者様と情報交換をすることに努めています。
	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報は鍵付きの欄に保管し、廃棄書類については裁断しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	ご利用時には児童や保護者様から近況の様子を確認しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	事業所での行事を開催していないこともあり招待等は行っていません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	保護者様には周知出来ていない部分もあるのでしっかりお伝え出来るよう努めていきたいと思っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	避難場所の確認や避難経路等の確認を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	マニュアルを策定し研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	契約締結時に保護者様へ説明を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	食事やおやつの提供をしていません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	活動の中で事例がある際は随時作成し共有に努めています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 ハグキッズ健康クラブ おおさかてんじん 保護者等数(児童数) 46 回収数 30 割合 65%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	2	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	34	0	0	0	先生方は大変上手く指導して下さっている。	今後も良いサービスが提供出来る様に心掛けてまいります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	28	2	1	3		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	32	0	0	2	行動計画書が作成され、保護者に対して相談・振り返りが定期的にされています。	都度、近況を確認させていただきながら保護者様と同じ方向を向いて支援を続けてまいります。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	30	4	0	0		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	1	8	17		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	34	0	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	0	0	2		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	3	7	18	父母の会の活動や保護者会等が無い。	今後、保護者会等について検討させていただきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	2	0	7		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34	0	0	0	休憩時間や終了時に感想や今後の事についてよく話をさせて頂いています。	保護者様との情報共有を今後も大切にしてまいります。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	1	3	14		
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	29	1	0	4		
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	2	0	12		
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1	2	16		
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	32	1	0	1		
	18 事業所の支援に満足しているか	34	0	0	0	ハグキッズのおかげで色々な事が出来ています。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公

別添資料5

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 ハグキッズ健康クラブ おおさかてんじん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1時間枠で区切り、指導室のスペースは確保されています。
	2	職員の配置数は適切である	○		マンツーマンでのレッスン対応としているので配置数は問題ありません。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		完全なバリアフリーではないので車椅子やベビーカー等をご利用の際はお手伝いさせていただいております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		気付いた点についてはスタッフで意見を出し合って改善をはかっています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		いただいご意見等を反映できる様に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今後検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修だけでなく、日々の利用者様の様子等をスタッフ間で議論し事業所全体で同じ方向を向いて支援が出来る様努めています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		常に保護者様から情報をいただき、随時課題を確認しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一されたアセスメントシートを使用して状況の把握をしています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		様々な角度から児童を見て、個々に合わせた支援を行っています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている			支援計画をベースに活動内容を決定しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている			スタッフ間で意見を出し合って検討しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している			個々に合わせたプログラムを実施しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している			1:1でのレッスン対応となっていますが、状況に応じて活動内で集団活動を取り入れています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している			課題や成長している点などについてスタッフ間で意見交換を行い、記録に残すことで共有しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている			担当した指導員が必ず記録を取り、管理者が確認をしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している			定期的に計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童のレッスン担当者や児発管が参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	現在、関係機関と連携していないので今後検討していきたいと思います。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	医療的ケアが必要な児童はいらっしゃいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	先方から連絡をいただいた時や保護者様からの依頼がある時は情報を共有していますが、こちらから情報を発信することはありません。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	現在は助言や研修は受けていないので検討していきたいと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	外部との交流は出来ていないので、検討していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	現在参加していないので検討していきたいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		必ず保護者様に近況の確認を行うことで共通の理解を持てるよう努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ご利用時に保護者様と話をすることでスタッフから情報の聞き取りや助言をするよう努めています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約時に必ず説明をするように努めています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画は必ず保護者様に説明をした上で同意を得ています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		ご利用時に保護者様と話をする中で、課題等についてはスタッフから助言や支援を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	父母の会や保護者会等の活動はしていませんが、今後検討していきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情やご意見については詳細を確認しスタッフ間で意見を出し合い、迅速に対応するよう努めています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	会報は発行しておらず都度利用者様と情報交換をすることに努めています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報は鍵付きの棚に保管し、廃棄書類については裁断しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ご利用時には児童や保護者様から近況の様子を確認しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	事業所での行事を開催していないこともあり招待等は行っていません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	保護者様には周知出来ていない部分もあるのでしっかりお伝え出来るよう努めていきたいと思っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難場所の確認や避難経路等の確認を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約締結時に児童の情報を必ず提供していただき持病や服薬等についての詳細を確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事やおやつの提供をしていません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		活動の中で事例がある際は随時作成し共有に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルを策定し研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約締結時に保護者様へ説明を行っています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 ハグキッズ健康クラブ おおさかてんじん

保護者等数(児童数) 13 回収数 10 割合 76%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	9	1	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	10	0	0	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	0	0	0		
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	10	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0	0	1		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	8	2	0	0		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	0	3	4		
適切な支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	10	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	10	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	5	0	1	4		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	0	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	9	0	0	1		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2	0	1	7		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	8	1	0	1		